



“ゴルフ”に“金物”「これぞ三木」の体験学習

こんな名門倶楽部で!?!~ゴルフ実技~

3年生12名が選択中の「専攻実技」。2学期は特別非常勤講師のご指導の下、7週14時間にわたってゴルフに取り組んでいます。

まず、本校体育館やグラウンドで、ゴルフの歴史やルール、マナー等、フェアプレイの精神とスイングの基礎を学んだ後、実戦練習へ。会場は、三甲ゴルフ倶楽部ジャパンコース。毎年、国内プロゴルフツアー競技の熱戦が繰り広げられる、高校生にはあまりにも恐れ多い名門倶楽部です。11月24日までに、同倶楽部練習場でティー(フル)、アプローチ、バンカーの各ショットやパターをひと通り経験しました。最終回を迎えた本日12月1日5・6校時は、ついに体験ラウンドです。トーナメントプロゴルファーもプレイする風光明媚なコースを数ホール回る予定です。

9つものゴルフ場が点在する吉川町。本校ならではの贅沢すぎる体験学習です。



「鉄は熱いうちに打て」~鍛造のすごさを実感~

11月24日5・6校時、3年生「日本の文化」選択者4名は、三木金物について体験をまじえ学びました。講師の田中誠貴(しげき)さんは本校卒業生。「鍛冶のまち」三木市の中でも唯一、「鍛造」(たんぞう=金属をハンマーで叩いて圧力を加えることで強度を高め、目的の形状に成形する技術)から手作業で包丁を作り上げることができる職人で、世界の料理人らにその名が知られる方です。

本校卒業後、福井県越前市での修業時代を経て現在に至るまで、一つの道を究めながらもおごらず、遊び心もある先輩の体験談を傾聴し、生徒は大いに納得。自身の進路について決意を新たにするとともに、模擬鍛造体験を通して、「鉄は熱いうちに打て」の意味を、身をもって理解することができました。

田中さん製作の包丁による実演は、驚きの連続でした。フランスパンに刃をあてると、包丁の重みだけで切れる!しかも、くずが全く出ない!ぺらぺらの紙さえ切れてしまう!販売価格が桁違い(5桁、6桁!)なもの納得の「切れ味」でした。

写真:①② 生徒は興味津々 ③ 包丁の自重だけでフランスパンが切れた! ④ 模擬鍛造体験中 ⑤⑥ 包丁で薄紙も切れる!

